

よっかいち 市議会 だよ

6月定例会議会号



総務常任委員会



教育民生常任委員会

身近けど
あまり知らない



産業生活常任委員会



都市・環境常任委員会



意外と進んでいる
四日市市議会

※集合写真の撮影時のみマスクを外しています。

特集

市議会ってどんなところ？

→P.2~3



市議会HP
情報発信中!

No.330 令和3年8月5日発行

市議会ってどんなところ？



市議会って、あまりなじみがないけど、
いったいどんなことをしているんだろう？

市議会は、市のルール(条例等)や予算を決めたり、その
予算が正しく使われているか検証(決算の審査)したりして
います。

四日市市がもっと住みやすいまちになるように、また、
皆さんからお預かりした税金が正しく使われるように、市
民の代表としてしっかり議論しています。

議会で決まったことは、普段の生活にさまざまな形で反
映されているんですよ。



市議会の活動ってこんなこと!

四日市市議会は、市議会としては平成23年に全国で初めて通年議会(定例会を1回とし、会期を通年とする)を導入しました。

その中で、集中的に議案審査等を行う「定例会」を年4回(6月、8月、11月、2月)開催しています。また、新型コロナウイルス対策や災害のような緊急性が高い行政課題等に対応するために、「緊急議会」を開くことがあります。

定例会や緊急議会以外の期間も、各常任委員会を開いて市政の課題解決に向けて積極的に調査を行うなどの活動をしています。

定例会(議案審査)の流れ

市長がすること

議案の作成

市民の皆さんの意見を反映させて、市の施策を行うために必要な条例の制定・改正案、予算案などの議案をつくります

議会に提出

市民の皆さんの
声を聞いて
施策を考えます



- 安心して子育てしたい
- 公園が欲しい
- 災害に強いまちにしてほしい
- 働きやすいまちにしてほしい

市議会がすること

本会議開催

提案理由説明

市長が議案の提案理由を議会に説明します

議案質疑

議員が議案の内容について質問します

委員会付託

議案を本会議で採決する前に、各常任委員会に審査を委ねます



数多くの議案をきめ細かく専門的に審査できるように、それぞれの委員会に分けて話し合います

各委員会で審査

【総務常任委員会】

市政の企画、財務、危機管理、消防、シティプロモーションなどに関する事



【教育民生常任委員会】

教育、子ども、健康福祉などに関する事



意外と進んでいる？ 四日市市議会

実は、四日市市議会は、全国的にも先進的な議会として評価されています。民間機関が毎年実施する議会改革度調査(※)では、常に全国の議会の中で上位をキープしています。今後も、市民の皆さんに議会の活動を知ってもらい身近に感じていただけるよう、取り組みを進めていきます。※「早稲田大学マニフェスト研究所議会改革度調査2020」ランキング8位(回答数は全国1,404の都道府県・市区町村議会)

四日市市議会基本条例の基本方針の3本柱

市民との情報共有

SNSを活用した情報発信の開始

市議会が身近な存在となるよう、幅広い世代に向けて情報を発信しています。



フェイスブック



ツイッター



インスタグラム



市民参加の推進

議案に対する意見募集

いくつかの議案について、定例会議会ごとに市民の皆さんに意見を募集して、各議員が委員会審査の参考にしていきます。



※P.17に今回の募集結果を掲載しています。

議員間討議の活性化

決算審査を通じて市長に提言

決算審査において明らかになった課題を市長に提言し、来年度の予算に反映する仕組みづくりを行っています。

8月

決算審査

市のお金が適切に使われているか？

課題 意見

2月

予算審査

提言内容が反映されているか？

市長に政策提言

その他にもさまざまな取り組みを実施しています。

役割を分担することで、効率的で、より深い議論を行っています。



【予算常任委員会】
予算に関すること

【決算常任委員会】
決算に関すること

【産業生活常任委員会】

商工業、農林水産業、市民文化、市立病院などに関すること



【都市・環境常任委員会】

道路、住宅、上下水道、環境衛生、国体などに関すること



本会議で採決

委員長報告

委員会で話し合った内容を委員長が報告します

討論

議案に賛成または反対の立場で議員が意見を述べます

採決

出席議員が賛成か反対かを意思表示し、集計します



議会での結果

市民の皆さんの声が市の施策に反映されます



議案は、議員または委員会が提出することもできます

6月定例月議会の概要

6月定例月議会の議会期間は、6月7日から7月1日までの25日間でした。

訪問型の産後ケアに加えて宿泊型とデイケア型も実施するための妊産婦乳幼児保健指導事業費などの増額補正を行う一般会計補正予算(第3号)や、市税条例の一部改正など、市長から提案された19議案を審議し、17議案を原案のとおり可決し、2件の人事案件に同意しました。また、意見書の提出および四日市市議会会議規則の一部改正の議員提出議案3件について原案のとおり可決したほか、2件の請願を採択しました。

日 程

月	日	内 容
6	7(月)	本会議 初日(議案説明、報告・質疑)
	14(月)~17(木)	本会議(一般質問)
	18(金)	本会議(一般質問、質疑・委員会付託、追加議案説明・質疑・委員会付託)
	21(月)	各常任委員会／予算常任委員会分科会(総務、教育民生、産業生活、都市・環境)
	22(火)	教育民生常任委員会
	25(金)	予算常任委員会全体会
7	1(木)	本会議 最終日(委員長報告・質疑・討論・採決)

議案の議決結果

市長提出議案	議 案 名	議決結果	
議案第2号	令和3年度一般会計補正予算(第3号)	原案可決	全 員
議案第3号	市税条例の一部改正	原案可決	全 員
議案第4号	工事請負契約の締結 -文化会館舞台照明及び舞台音響設備更新工事-	原案可決	全 員
議案第5号	工事請負契約の締結 -西阿倉川62号線道路改良工事-	原案可決	全 員
議案第6号	工事請負契約の締結 -追分石原線塩浜跨線橋(補助)橋梁整備工事-	原案可決	全 員
議案第7号	工事請負契約の締結 -旧笹川西小学校解体工事-	原案可決	全 員
議案第8号	工事請負契約の締結 -南消防署庁舎改築工事(建築工事)-	原案可決	全 員
議案第9号	工事請負契約の締結 -南消防署庁舎改築工事(建築電気設備)-	原案可決	全 員
議案第10号	動産の取得 -ICT機器(学童保育所72施設)-	原案可決	全 員
議案第11号	動産の取得 -小型一般ゴミ収集車4台-	原案可決	全 員
議案第12号	動産の取得 -油圧ショベル1台-	原案可決	全 員
議案第13号	動産の取得 -消防ポンプ自動車(CD-I型)3台-	原案可決	全 員
議案第14号	市道路線の認定	原案可決	全 員
議案第15号	令和3年度一般会計補正予算(第4号)	原案可決	全 員
議案第16号	個人情報保護条例の一部改正	原案可決	全 員
議案第17号	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用等に関する条例の一部改正	原案可決	全 員

議案第18号	戸籍関係等手数料条例の一部改正	原案可決	全 員
議案第19号	教育長の任命	同 意	全 員
議案第20号	教育委員会委員の任命	同 意	全 員

議員提出議案	議 案 名	議決結果	
発議第4号	核兵器禁止条約の実効性を高めるための主導的役割を果たすことを求める意見書の提出	原案可決	賛成多数
発議第5号	選択的夫婦別姓制度に対しては慎重なる検討を求める意見書の提出	原案可決	賛成多数
発議第6号	市議会会議規則の一部改正	原案可決	全 員

議案の賛否一覧表

※議案について、賛成、反対の双方あった場合のみ、表示しています。

議案番号	会 派 議員名	議決結果	賛 成	反 対	政友クラブ										新風創志会					フューチャー四日市				公明党			市民Eyes		無会派 日本共産党		森川 慎						
					伊藤嗣也	小川政人	荻須智之	川村幸康	笹井絹予	笹岡秀太郎	中村久雄	日置記平	森 康 哲	石川善己	井上進	谷口周司	豊田政典	早川新平	平野貴之	三木 隆	諸岡 覚	小田あけみ	加納康樹	後藤純子	竹野兼主	樋口龍馬	村山繁生	荒木美幸	中川雅晶	樋口博己		森 智子	山口智也	伊藤昌志	小林博次	土井数馬	太田紀子
発議第4号		原案可決	26	6	○	欠	×	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第5号		原案可決	24	8	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※○は賛成 ×は反対 欠は欠席 ※議長(樋口博己)は採決に加わらない。

請願の議決結果

請 願	件 名	議決結果	
請願第1号	選択的夫婦別姓制度に対しては慎重なる検討を求める意見書の提出	採 択	賛成多数
請願第2号	笹川地区内の避難所確保を求めること	採 択	全 員

請願の賛否一覧表

※請願について、賛成、反対の双方あった場合のみ、表示しています。

請願番号	会 派 議員名	議決結果	賛 成	反 対	政友クラブ										新風創志会					フューチャー四日市				公明党			市民Eyes		無会派 日本共産党		森川 慎						
					伊藤嗣也	小川政人	荻須智之	川村幸康	笹井絹予	笹岡秀太郎	中村久雄	日置記平	森 康 哲	石川善己	井上進	谷口周司	豊田政典	早川新平	平野貴之	三木 隆	諸岡 覚	小田あけみ	加納康樹	後藤純子	竹野兼主	樋口龍馬	村山繁生	荒木美幸	中川雅晶	樋口博己		森 智子	山口智也	伊藤昌志	小林博次	土井数馬	太田紀子
請願第1号		採 択	24	8	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※○は賛成 ×は反対 欠は欠席 ※議長(樋口博己)は採決に加わらない。

用語解説

【討論】

採決の前に議題となっている案件に対し、自己の賛否の意見を表明するとともに、意見の異なる議員に、自己の意見に賛同するよう求める発言

請願第1号 討論(反対)

夫婦同姓を定めた明治時代から時代は変化し、男女の役割は多様化しているが、夫婦の約96%が夫の姓を選ぶなど、実質的に男女平等な社会とはかけ離れている。また、選択的夫婦別姓制度は、同姓を選びたい夫婦の意見も尊重するものである。本請願の趣旨は、夫婦同姓についての歴史観や、家族の一体感などの精神論を理由に挙げているが、夫婦同姓を理由に結婚を諦め、事実婚を選ぶなどの不利益を単純になくすため、選択的夫婦別姓制度を進める必要があると考え、本請願には反対する。

(豊田祥司議員)

請願第1号 討論(賛成)

現在の日本では、職場で旧姓を名乗ったり、離婚後に元の苗字に改姓しなくても、法的に処罰されることはなく、多くの人が通称名として問題なく生活している。これこそが寛容な社会の表れである。また、家族が別姓であると、共有できる関係性に不安が生じ、子どもたちに影響が出るとの説もある。女性が旧姓を名乗ることが認められている日本社会において、安易な利便性のみを強調して、同姓の家族を一つの単位とする歴史と文化を失うことのないよう、本請願に賛成する。

(荻須智之議員)

委員会審査の概要

常任委員会における条例の一部改正や契約を締結しようとする議案などについての審査で出された主な意見等の概要をお知らせします。

総務常任委員会

◆工事請負契約の締結について

一 南消防署庁舎改築工事(建築工事・建築電気設備) 一

質疑 スマートシティの考え方から、電気自動車の普及を見据えた仕様にすべきであり、50年、60年にわたり使用できるよう、今後の技術革新を見据えて必要な設備を設置することができる仕様にすべきではないか。

回答 今後、必要に応じて電気自動車用の急速充電器の導入等の対応をしていきたい。また、将来を見越した新しい設備についても、今後、視野に入れて検討したい。

◆動産の取得について

一 消防ポンプ自動車(CD-I型) 3台 一

質疑 消防車の価格が数年前からかなり上がっているが、消防車の機能が向上したのか。

回答 自動車排出ガス規制の対策機器や衝突軽減ブレーキ等の設置によりベース車両自体の価格が100万円から200万円上昇しているほか、ドライブレコーダーやデジタル無線などの積載品の追加や、それに伴う取付費用もあり価格が高くなっているが、他都市の実績と比較しても適正な範囲の価格と考えている。

意見 現在使用するベースが3トンの車両では中型免許が必要となるが、普通免許でも運転できる同程度の機能を持つ車両について、今後、購入を検討すべきと考える。

産業生活常任委員会

◆核兵器禁止条約の実効性を高めるために主導的役割を果たすことを求める意見書の提出について

意見 核兵器廃絶は賛同するが、核兵器そのものを否定すると、日米の安全保障は成り立たなくなってしまう。

意見 現在の日本は核抑止力により守られており、主導的に条約の署名と批准を進めることは時期尚早である。

意見 唯一の戦争被爆国として、条約の署名と批准に向けた環境構築に取り組んでいくことは必要と考える。

教育民生常任委員会

◆工事請負契約の締結について

一 旧笹川西小学校解体工事 一

質疑 住民説明会で全員が納得しなければ工事を認めないということではなく、きちんと住民に説明して意見を聞き、説得する努力をしてほしいと考えるがどうか。

回答 教育委員会は笹川東小学校と笹川西小学校統合の際から時間をかけて住民と協議してきたので、住民がどのような思いを持っているかは理解している。今回の解体工事についても、住民の生活に密着した問題であるので、跡地の再編計画を進める都市整備部とともに住民説明会に出席し、解体工事の安全面について説明していきたい。

◆動産の取得について

一 ICT機器(学童保育所72施設) 一

質疑 小・中学校でGIGAスクール構想が進む中で、学童保育所でもICT環境をどう活用するかがポイントである。教育委員会とも協議して、子どものスキルアップにつなげることが重要と考えるがどうか。

回答 小・中学校では、今年の夏休みは全校でタブレットの家庭への持ち帰りを実施するとのことであり、タブレットを使用した宿題も出されると聞いている。すべての学童保育所でWi-Fi環境が整っているわけではないので、7月中旬に学童保育所でタブレットを活用した学習ができるよう環境を整えたい。今回のICT環境の整備は、学童保育所指導員のリモート研修等に活用するためのものであるが、子どもたちの活用という部分も教育委員会としっかりと連携しながら進めたい。



都市・環境常任委員会

◆動産の取得について 一 小型一般ごみ収集車4台 一

質疑 ごみ収集車のイメージアップにつながるデザインを購入する車両にラッピングするのか確認したい。

回答 平成29年度より、ごみ収集車の左右側面に4種類のデザインの中からそれぞれ異なる図柄をラッピングしており、新たに導入する車両についても、これまでと同様にラッピングを行う。

予算常任委員会 審査の概要

予算の審査については、総務、教育民生、産業生活、都市・環境の各分科会で、おののの所管に属する予算について詳細な審査を行った後に、予算常任委員会の全体会において各分科会からそれぞれの審査の経過と結果の報告を行い、必要な事項については全体会で審査します。全体会および分科会における主な意見等の概要をお知らせします。

予算常任委員会全体会

◆全体会において、委員から全体会審査すべきものとして追加提案された事項はなく、令和3年度一般会計補正予算(第3号および第4号)について、いずれも別段異議はありませんでした。

予算常任委員会分科会

総務分科会

◆コミュニティ助成事業費補助金について

質疑 本市の防災の一翼を担う市民団体に対して、機材購入に補助を行うだけでは乱暴に感じる。配備した後の運用面についても、市が使用基準を示すなど、フォローする必要があるのではないか。

回答 今回の補正予算は、地区から要望があったものについて、一般財団法人が実施する宝くじの事業採択を受けて補助を行うものであり、地区が購入する物品に対し、市として使用の条件を付けることはない。

質疑 可搬式消防ポンプは火災出動に使用されるものであり、扱い方を間違えるとけがや命の危険にもつながりかねない機材である。扱い慣れている消防本部に確認した上で、使用基準を示す義務があると考えがどうか。

回答 現在、可搬式消防ポンプの使用基準等はないが、火災発生時にしっかりと使えるようにする必要がある。消防本部と連携しながら、機会を捉えて、訓練や指導をしていきたい。

産業生活分科会

◆農業センター再整備事業費について

質疑 就農予定者への支援について、本市が主体となっていくのではなく、既に成果を上げている農業者に補助を出して実習を行ってもらったり、人員を派遣して支援したりするようなプログラムは農業センターとして実施しているのか。また、6次産業化に関する今後の取り組みはどうか。

回答 先進農業者での実習については、県の普及センターやJAと連携してつないでいき、その支援策を今後検討していく。また、6次産業化への取り組みについては、農業センター内に農産物の加工室を新たに設けるため、農業者に利用してもらえるよう周知、広報を図っていく。

質疑 農業者が継続的に利益を上げることは難しい課題だと感じるが、施策や考えはあるか。

回答 農業者には、GAP(農業生産工程管理)などの考え方を取り入れて、自らの経営コストを認識し、作業の効率化を図ってもらえるよう、働きかけていきたいと考える。また、どのような作物を作って売るのが重要となるので、関係機関と連携して振興を図るべき作物を協議し、その作物を栽培するための研修の場として農業センターの利用を勧めたい。



教育民生分科会

◆妊産婦乳幼児保健指導事業費について

質疑 産後ケア事業については、死産等を経験した方を含めた妊産婦や育児に悩む方を支援する専門的な機関につなぐなど、重層的な事業にしていかなければ市民にも伝わらない。母子を対象とした現在の事業内容のまま周知しても、利用者が劇的に増加するとは思えないがどうか。

回答 妊産婦に対する支援としては、保健師等が中心となり訪問、電話相談等をしており、その一つとして産後ケア事業がある。その中で、産前産後で特に支援の必要な方については、訪問等の中で意向や悩みを聞き取り、死産等を経験した方を含めて、より適した支援を継続していきたい。

◆新型コロナウイルス感染症対策事業費について

質疑 自ら医療機関を受診した際に検査費用は公費負担となるのか。また、医師から勧められて受診した人は公費負担となるのか。加えて、入院時の医療費はどうか確認したい。

回答 自ら医療機関を受診し、医師が診察の際に新型コロナウイルス感染症の検査が必要と判断した場合には、公費負担で検査を実施している。一方、医師が検査の必要性を認めなかったり、あるいは陰性証明を目的に検査を希望した場合には、自己負担で検査する必要がある。医師するから勧められて受診した場合は公費負担となる。また、陽性が判明して入院した場合の医療費は公費負担にて対応している。

都市・環境分科会

◆垂坂公園・羽津山緑地整備事業費について

質疑 東屋の整備について、工事スケジュールと公園利用に制限が生じるのか確認したい。

回答 8月から9月頃には工事を発注できるように設計に取りかかりたい。また、工事期間中は利用者の安全を確保しながら、公園利用への影響が少なくなるような形で整備を進めたい。

質疑 老朽化して維持管理が難しい東屋もあることから、今までの固定観念にとらわれず、市民が利用しやすいものを新しい発想で整備する必要があるのではないか。

回答 擬木の東屋を整備することで、木造と比べて長く使えるようにするなど、使いやすいものになるように整備を進めたい。

意見 市民の憩いの場としていくため、詳細な計画を改めて議会へ報告してほしい。

一般質問をした議員と項目（質問順）

伊藤 昌志	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども学習支援事業 ・コロナワクチン接種事業 ・コロナ対策事業
小林 博次	<ul style="list-style-type: none"> ・貧困対策について ・二酸化炭素の排出削減について
笹井 絹予	<ul style="list-style-type: none"> ・本市の環境計画について ・あすなろう鉄道 ・三重とこわか国体・三重とこわか大会について
荻須 智之	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人の人権に対する市の支援について ・小学校の水泳授業について ・市営温水プールとヘルスプラザについて
中村 久雄	<ul style="list-style-type: none"> ・多文化共生について ・熱中症対策と新型コロナウイルス感染症対策
伊藤 嗣也	<ul style="list-style-type: none"> ・四日市市国土強靱化地域計画について ・新型コロナウイルス感染症から市民の生命を守るために
森 康哲	<ul style="list-style-type: none"> ・消防について ・危機管理について ・新型コロナウイルス感染症対策について
森 智子	<ul style="list-style-type: none"> ・ヤングケアラーの現状と支援について～孤立を見逃さないために～ ・ワクチン接種の次のフェーズに向けて
荒木 美幸	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍における女性の負担軽減について ～「生理の貧困」を考える～
山口 智也	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者等のごみ出し支援について～ふれあい収集の制度設計を早期に!!～
中川 雅晶	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅セーフティネット施策について
太田 紀子	<ul style="list-style-type: none"> ・エアコン設置などの熱中症対策を必要な市民に
豊田 祥司	<ul style="list-style-type: none"> ・国民健康保険料について
早川 新平	<ul style="list-style-type: none"> ・避難情報の変更について 市民にどういう方法で伝達するのか ・住吉運河の老朽化対策の進捗と問題点・解決策は
谷口 周司	<ul style="list-style-type: none"> ・GIGAスクール構想 ～一人1台タブレット～ ・保育園における公私間格差是正 ・「四日市ナンバー」について
井上 進	<ul style="list-style-type: none"> ・市街化調整区域における空き家の有効活用を ・不登校生徒を救うために市ができることは ・少年自然の家の検証をどう生かす
石川 善己	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児教育・保育の環境について ・コロナ禍における安心・安全について
平野 貴之	<ul style="list-style-type: none"> ・東京一極集中は終わった！ 地方に注がれるアツい視線を見逃すな
小田あけみ	<ul style="list-style-type: none"> ・クリーンセンターを安定して使い続けるために ・在宅介護支援センターの更なる活用を！ 地域包括支援センターとの役割分担を明確にし、より機能的に在宅介護支援センターを活用する方法を問う
後藤 純子	<ul style="list-style-type: none"> ・FemTech(フェムテック)について ～性に関する指導 その2～ ・VR・ARアプリについて～本市の遺跡、指定・登録文化財を知ってもらうために～ ・災害廃棄物について
村山 繁生	<ul style="list-style-type: none"> ・脱炭素待ったなし！ 現実味を帯びてきた水素社会 ・スマホを使った道路損傷通報システムについて ・食品ロスを減らすためのマッチングアプリを導入せよ

一般質問から

一般質問は、定例月議会が開かれたときに、議員が議案に関係なく市政の諸課題や将来への展望等について市の考えをたずめます。

6月定例月議会は、21人が一般質問を行いました。その中から主な質問と答弁の内容をご紹介します。

質問等の詳細については、市議会ホームページに掲載しています「インターネット録画中継」または「会議録(次の8月定例月議会ごろに公開予定)」をご覧ください。

QRコードから各議員の質問の映像を見ることができます。(※視聴の際のデータ通信料はご自身の負担となります)

ワクチン接種 市民が安心できる積極的かつ正確な情報発信を！



市民eyes
伊藤 昌志



議員 75歳以上の市民に新型コロナウイルスワクチンの接種券を送付した際は、電話が殺到してつながらず予約できないなど市民から多くの苦情が寄せられた。今回の本市の対応についての課題と今後の改善策を確認したい。

政策推進部長 予約申込みが集中する状況を招き、ご不便をおかけした。随時改善策を講じたものの、対応が後手になったことは否めない。焦らず安心して行動してもらうよう市民に周知しつつ、十分な予約枠の確保に努めたい。

議員 ワクチン接種を希望する市民が諦めることのないよう改善を強く求める。市民の信頼を取り戻し、市民の命を守るためには、接種に関する的確な情報発信が重要と考えるがどうか。

政策推進部長 ワクチン接種に関する情報をマスメディア等で引き続き発信するとともに、今年7月からはLINE(ライン)での発信を予定している。現在、地区市民センターで自治会長や民生委員等を通じて、高齢者の声をお聞きしており、今後も市民の不安解消に努めたい。

議員 他自治体が行う情報発信の好事例を参考にしつつ、保健所を設置する本市が把握できる重症化率等の統計情報や、国が公表するワクチンに関する情報等を、広く市民に対し積極的かつ正確に発信すべきではないか。

市長 ワクチン接種はあくまで任意だが、市民が接種するかどうかの判断がしっかりできるよう、今後も情報提供に努めていく。

鉄道 あすなろう鉄道を適正に管理し、市民に安心安全を



友友クラブ
笹井 絹予



議員 四日市あすなろう鉄道において、鉄道と道路が交差する踏切道の構造はどのようなものか。また、枕木や踏切板に使用されている材質について確認したい。

都市整備部長 踏切道の構造は、一番下に設置される3cm程度の碎石を突き固めた道床、その上の枕木、レール、歩行者や車両などが横断するための踏切板、踏切ガードで構成されている。枕木の材質は大半が木製で、ごく一部がFFU製(※)であり、踏切板の材質は交通量などによって使い分けており、コンクリート製とFFU製が各9カ所、木製が20カ所である。

議員 日永西1丁目の踏切道では、踏切を通過する音や振動により近隣住民が悩まされており、実際に通ってみると、金属音がした。この踏切道は最近、応急的な修繕を行ったとのことだが、今後どのように改修していくのか。

都市整備部長 枕木の経年劣化でボルトが緩み、踏切ガード等が動いたことにより音が発生していたため、応急対策として、踏切ガードと枕木

※硬質ウレタン樹脂をグラスファイバーで強化したもの

をボルトで締め直した。その際、踏切板等の老朽化も確認したため、今年度中に更新工事を実施する。また、その他の老朽化している踏切道も併せて更新工事を予定しており、引き続き適切な維持管理に努めていく。

議員 騒音などで睡眠が妨げられることのないよう、市民の安心安全と、公共交通の安全対策をお願いしたい。



あすなろう鉄道の適切な維持管理が求められる

貧困対策

地域で支え合い、豊かに暮らすために



市民eyes
小林 博次



議員 18歳未満の子どもがヤングケアラー(※)を経験すると、心と体の発達に重大な影響を与えかねないため、本市においても対策が求められる。この問題は複合的な課題を有していることから、部局の垣根を越えたプロジェクトチームを設置して対応する必要があると考えるがどうか。

こども未来部長 令和4年度に予定している「子どもの貧困対策計画」策定にあたり、関係部局によるワーキンググループを設置し、ヤングケアラーの認識を共有しながら協議していく。

議員 高齢者を取り巻く状況は、コロナ禍で地域の助け合いが制限され、孤立と貧困が加速している。以前、有償ボランティア活動による対

※家族の介護やケア、身の回りの世話を担う18歳未満の子ども

策を提案したが、本市の考えはどうか。

健康福祉部長 生活支援コーディネーターと連携して、住民主体サービスの担い手の発掘や育成を行う。また、元気な高齢者がサービスの担い手となり、対価を得る有償ボランティア的な活動の支援により地域の助け合いを広げていきたい。住民主体サービスが行き届いていない地区では、地域住民や民間企業などの協力を得ながら、高齢者を見守ることが必要と考えている。

議員 高齢化が進むと、若い世代の負担はもちろん、介護保険料の増額などにより、高齢者の経済的負担の増加も懸念される。四日市市市民協働促進条例に記された基金制度を整備し、さまざまな活動を支援する体制整備を要望する。

水泳授業

コロナ禍での子どもたちの泳ぐ力の格差を解消せよ



政友クラブ
荻須 智之



議員 感染症予防のため多くの市町が小・中学校での水泳授業を中止する中、本市は今年度、再開を決断したことは大変評価できる。どのような感染症対策を講じて水泳授業を行っているのか。また、更衣室の換気機能増強などのハード対策を行わなかったのはなぜか。

教育長 今年度の水泳指導は「水に慣れ親しむ楽しさや喜びの体験、水中で自らの命を守るための動きの経験」を目的としている。「水泳指導安全の手引」を作成し、身体的距離の確保や更衣場所の工夫など感染症対策を講じた水泳指導、管理のあり方等を示し、各校の状況に応じたきめ細かなソフト面での対策を実施した。

議員 感染防止対策を行うことにより、大規模

校と小規模校との間に授業時数に格差が生じているが、どのように考えるか。

教育長 授業実施回数は大規模校で平均3.8回、小規模校で平均7.6回となっている。今後は、各校での感染症対策や工夫を来年度に生かし、水泳指導の充実に努めていく。

議員 以前から水泳授業の民間委託を提案しているが、コロナ禍での授業実施回数の確保という点でも有効と考える。市の考え方はどうか。

教育長 外部の専門家や学校現場の意見を取り入れながら、民間委託を含めた持続可能な水泳指導について調査研究を進めていく。

議員 子どもたちの水泳教育の格差是正のため、さらなる研究を要望する。

熱中症対策

事前対策を講じてコロナ禍での熱中症を防げ



政友クラブ
中村 久雄



議員 コロナ禍において、本市の小・中学校でも国のマニュアルに基づいて教室の換気を行っているが、夏の猛暑日における子どもたちの学習環境をどのように確保していくのか。

教育長 常時換気しながら空調を稼働するため、室温が下がりにくく、マスクを着用する児童生徒の体内に熱がこもりやすくなることも予想されるが、温度設定の目安を25度に下げ、児童生徒の様子を見ながら温度を上下するよう各学校に指示している。今後、全教室にCO2モニター(※)を設置し、換気状況を把握しながら、窓の開閉を適宜調整することで、十分な換気と効率的な空調利用が行えるよう併せて指導する。

議員 国のマニュアルでは、十分に身体距離を

保てる場合はマスク着用の必要はなく、気温・湿度や暑さ指数が高い日はマスクを外すように明確に示されている。コロナ禍の熱中症対策について本市の指導は分かりにくいのではないかと。

教育長 活動内容の強度と時間に十分注意した内容とすることなど、コロナ禍における学習環境について具体的な指示を学校に行っている。今後も感染症と熱中症の両面で専門的な知見を取り入れ、時期に応じて学校に指導していく。

議員 感染対策を行いつつ、併せて熱中症が予防できるよう、市民への啓発を改めて求めたい。また、「早寝・早起き・朝ごはん」の取り組みは、身体全体の抵抗力を高め、感染対策に非常に有効であるため、より一層推進してほしい。

※空間の二酸化炭素濃度を測定する機器。新型コロナウイルス感染対策として室内の換気状況を確認できる

新型コロナウイルス 市民の命を守るためにCO₂濃度測定器を導入せよ



政友クラブ
伊藤 剛也



議員 エアロゾル感染(*)による新型コロナウイルスのクラスター事例が確認されており、市民の命が脅かされている。手洗いや消毒等の対策だけでは不十分であり、換気の徹底が何より重要である。安全な室内空間を保つためには、CO₂濃度測定器の導入が必要である。市民への感染を防ぐために導入すべきではないか。

健康福祉部長 厚生労働省が示す商業施設等の換気の目安や、建築物における衛生的環境の確保に関する法律において、空気環境の基準はCO₂濃度が1000ppmを超えないこととされている。CO₂濃度測定器を導入して換気状況を可視化することは、換気的重要性を認識し、良好な換気状態を保つ有効な対策であると考えます。

*空气中をただよう微粒子内に病原体が含まれていて、この微粒子を介して感染すること

議員 測定結果では、法律で定められた基準を上回るCO₂濃度が観測されており、法律に不適合な状態を放置している。法令遵守されていない状況を認識しながら、改善もせず、何ら手を打たないのは非常に問題があるのではないかと。

財政経営部長 法律に基づく環境測定を補完する意味合いで、市役所および総合会館において、市民が多く来庁する窓口などを中心にCO₂濃度測定器を設置する。必要に応じて窓の開放回数を増やすなど、衛生的環境の確保に努める。

議員 市の施設が法律の基準を満たしていないのは問題であり、市民の命にも直結するため、直ちに是正する必要がある。市民の命を守るという強い姿勢で取り組むよう、強く要望する。

ワクチン接種 誰一人置き去りにしない、円滑な接種を



公明党
森 智子



議員 新型コロナウイルスワクチン接種事業について、市民に見やすく、分かりやすい形でワクチン接種等の情報を迅速に発信する必要がある。LINE(ライン)を活用し、予約や接種状況等の情報発信が有効と考えるがどうか。

政策推進部長 国の方針に基づき、LINEに個人情報を入力しない仕組みとすることとし、市の公式LINEからワクチン接種関連ページにアクセスできるよう、7月からの運用に向けて準備を進めているところである。

議員 国が示す接種順位に加え、優先接種が必要な方に先行予約の配慮をすべきではないか。

政策推進部長 まずは高齢者への接種の迅速化に注力するが、集団接種会場での余剰ワクチン

を接種する候補者のリストを作成するなどの対応をしており、今後も柔軟に対応していきたい。

議員 移動が困難な高齢者等への訪問接種や、障害者への配慮をどのように行っていくのか。

政策推進部長 在宅療養中の高齢者等について、主治医による訪問接種も少しずつ進めている。可能な限り主治医による接種を進める考えだが、接種できない方への対応も今後検討したい。

議員 職域接種について、中小企業が共同して1000人以上の規模を確保できるよう、商工会議所等との連携が有効と考えるがどうか。

政策推進部長 職域接種は県が窓口だが、接種の迅速化に有効と考えるため、県と連携しつつ、商工会議所等と協力していきたい。

ごみ 誰も取り残さないごみ出し支援を進めよ



公明党
山口 智也



議員 本市では、介護予防・日常生活支援総合事業によるごみ出し支援に加え、福祉サービスと連携したごみ収集システムを構築するとしているが、これらの取り組みだけで支援が行き届くのか疑問である。高齢化の進展に伴い、ごみ出しに課題を抱える世帯が増加しており、こういった世帯を対象にごみの戸別収集を行う「ふれあい収集」を実施すべきと考える。廃棄物処理と福祉の連携が必要だが、部局間の連携はどうか。また、ふれあい収集の検討状況はどうか。

環境部長 関係部局がともに視察を行い、先進事例や課題を共有するなど、連携して協議しており、今年の夏を目途に福祉サービスと連携したごみ収集を開始したい。また、ふれあい収集

については、支援が必要な方にとって有効な政策だが、課題もあり、まずは福祉サービスと連携したごみ収集を着実に実施したい。

議員 ごみ出しに課題を抱える事例は、今後確実に増加していく。ふれあい収集は、ごみ屋敷や孤独死の未然防止にもつながる重要な取り組みであり、健康福祉部が問題意識を持ち、主体的に制度構築を進めるべきではないか。

健康福祉部長 福祉を担う部局として、しっかりと関わっていく必要があると認識している。

議員 ごみ出し支援は、生活の根幹、生命に関わる重要な取り組みである。誰ひとり取り残さないよう、ふれあい収集の検討を継続的に進めるよう要望する。

消 防

119番映像通報システムについて



政友クラブ
森 康哲



議員 今年度、音声による119番通報に加えて、通報者が災害現場を撮影した映像を送ることができる119番映像通報システムを導入すると聞いている。このシステムの概要と、本市の活用方法を確認したい。また、市民に知ってもらうための広報が必要と考えるがどうか。

消防長 このシステムは、通報の内容から指令センター員が必要と判断した場合に、通報者にビデオ映像の送信を依頼し、通報者の了解を得て、現場の状況を撮影してもらう。通報者が撮影した映像は、指令センターに送られ、指令センター員がリアルタイムに現場の状況を確認することが可能となる。例えば、指令センター員が現場の状況を確認しながら、適正な心臓マッサージの方法を伝えることができる。また、指令センターから映像を送る機能もあり、心臓マッサージの録画映像を送り、通報者がその映像を見ながら心臓マッサージをするという活用もできる。今年6月下旬に導入して、職員の研修後、7月中に運用を開始できるよう努めていく。ま

た、システムの運用には、市民の協力が必要のため、マスコミやホームページ、講習会やイベント等を通じ、積極的に広報を行っていく。

議員 これまでの音声だけの通報から、映像も見るようになる画期的ですばらしいシステムである。間もなく運用を開始することで、市民の安全・安心が向上することを期待する。

119番映像通報システム 利用イメージ



現場で撮影した映像を指令センターで確認する様子

女 性

コロナ禍で顕在化した「生理の貧困」を考える



公明党
荒木 美幸



議員 コロナ禍で収入が減って必要な生理用品が買えない「生理の貧困」の課題が顕在化した。女性の負担軽減に向け、本市は課題をどのように認識し、困窮する女性を支援していくのか。

市民文化部長 「生理の貧困」を解決するためには、ジェンダー(※)平等の実現が重要であり、男女共同参画社会の実現と併せ、着実に施策を講じていく。喫緊の対処として防災備蓄品を活用して生理用品の配布を早急を実施する。

議員 小・中学校の保健室に生理用品があることを知らなかったり、さまざまな事情でもらうことに声を上げづらい児童生徒がいるのではないかと考えるが、どのように対応していくのか。

教育長 全ての小・中学校で保健室に生理用品を常備し、保健指導等で周知しているが、トイレへの掲示物や保健だよりへの掲載など今後さらなる周知を図る。養護教諭等が児童生徒に直接声をかけ、関わりを持ちながら渡すことで、その子の真の困り感を捉え、関係機関とも連携を図りながら適切な支援につなげていきたい。

議員 誰もが気兼ねなく使えるよう、学校のトイレに生理用品を置くべきではないか。国の交付金活用も含めた対応を検討してほしい。コロナ禍を契機とした「生理の貧困」の顕在化は、もともとジェンダー平等や男女共同参画が進んでいなかったことが原因である。今こそ男女共同参画の担い手となるリーダーを育成し、男女共同参画センターが役割を発揮すべきである。



生理用品配布の案内表示

※生物学的な性別に対して、世の中の男性と女性の役割の違いによって社会的・文化的につくられる性差のこと

住宅

本市主体の住宅セーフティネット施策を推進せよ



公明党
中川 雅晶



議員 住宅セーフティネット施策(※)について、市内のある居住支援法人から、昨年度、本市からの相談は1件もなかったと聞いた。まずはこの施策を知ってもらうために、市民等に向けて、居住支援情報サイトやガイドブックの作成による周知徹底、相談窓口の設置などを行うべきと考えるがどうか。

都市整備部長 市民の認知度が上がっていないことは課題と認識している。国においても福祉政策と一体となった入居計画支援が示されているため、本市としても重要な課題と認識しており、今後できることを検討していく。

議員 現在県が設置している居住支援協議会を本市独自で設置し、健康福祉部や不動産業者、

※高齢者や障害者などの住宅の確保に配慮が必要な人へ、空き家や空き室を活用して居住支援を行うこと

居住支援法人などと連携し、本市のネットワークの中で解決するような独自モデルを構築していくべきと考えるがどうか。

都市整備部長 居住支援法人との連携体制を整え、関係部局とも連携を高めていくことは喫緊の課題と認識している。特に住宅確保に配慮が必要な人の入居を拒まない低家賃の住宅の確保が伸び悩んでいる。これらの課題を踏まえて、先進地の取り組みを注視するとともに、市内の居住支援法人と意見交換を行いながら、しっかりと検討して進めていきたい。

議員 市町村単位で居住支援協議会を設置した場合に国から出る補助金などを活用しながら、本市が主体となって施策を推進してほしい。

熱中症対策

必要な市民へのエアコン設置で暑さに備えよ



日本共産党
太田 紀子



議員 生活保護世帯に対する冷房器具の購入費用の支給対象は限定的であり、修理費用も生活保護費からは支給されない。支給要件に該当しないために、エアコンの購入、修理ができない世帯に対して、どのように対応しているか。

健康福祉部長 三重県社会福祉協議会が実施する生活福祉資金によるエアコン設置費用の貸付を案内している。引き続き周知に努めたい。

議員 市民から貸付が適切に受けられなかったケースを聞いている。窓口で貸付制度を紹介だけでなく、償還方法の相談など、きめ細かい対応が必要である。本格的な夏を前に実際に稼働するかの点検をするように周知することも必要と考えるがどうか。

健康福祉部長 コロナ禍の中で生活保護世帯への訪問は控えているため、エアコンの稼働点検と貸付制度について、今月中にも文書で周知し、円滑な修理、買い替えにつなげたい。

議員 名古屋市や岐阜市などでは、コロナ禍での熱中症対策として、住民税非課税世帯や生活保護世帯等の高齢者を対象に、エアコンの購入、修理費用の助成を始めた。全国的にこうした市町が増えており、本市も検討すべきではないか。

健康福祉部長 貸付制度の案内のほか、エアコンを適切に使用するための注意喚起や見守りにより熱中症予防に取り組んでいきたい。

市長 現在の制度の中でしっかり対応するが、先進的な自治体については注視していきたい。

国民健康保険

国民健康保険料の減免対象を高校生まで拡大せよ



日本共産党
豊田 祥司



議員 未就学児の国民健康保険料の均等割額を半額とし、減額相当額を公費で支援する法改正が先日行われたが、本市の対応を確認したい。

健康福祉部長 本市は、これまで全国市長会を通じて子育て世帯の負担軽減を要望しており、今回の法改正に伴い適切に事業を推進していく。

議員 減額相当額のうち、国・県以外の市の負担割合は4分の1だが、その財源はどうか。

健康福祉部長 一般会計から国民健康保険特別会計への繰り入れによる対応を予定している。

議員 今回の法改正での減免対象は未就学児までだが、「子育てするなら四日市」を掲げるのであれば、本市独自で子どもの均等割の減免対象者を高校生まで広げるべきと考えるがどうか。

健康福祉部長 本市独自の均等割の減免は、国から法の趣旨に抵触する恐れがあるなど、子どもに限定した減免は慎重に判断すべきとの見解が示されている。法改正など条件が整うまで対応は難しいが、国への働きかけを行うなど、より健全な国民健康保険の運営に向けて取り組む。

市長 国民健康保険だけでなく、公平性の観点からもさまざまな視点で子育て支援に取り組む。

議員 減免できない理由を探すのではなく、国への要望と併せて、本市独自で高校生まで減免する方法をぜひ検討してほしい。また、新型コロナウイルス感染症の影響で大幅に収入が減った市民への保険料の減免が現在行われているが、それを各種団体や市民に広く周知してほしい。

教育

タブレット端末を家庭でも活用できるよう推奨せよ



新風創志会
谷口 周司



議員 小・中学校へ1人1台のタブレット端末が配備されたが、大事なのはその後の活用である。このタブレット端末を鉛筆や消しゴムと同じ学習の必須アイテムと考えるなら、家庭に持ち帰るよう推奨し、より一層活用すべきと考えるがどうか。

教育長 全市的な取り組みとして、本年度夏休みにすべての児童生徒の一斉持ち帰りを実施する。子どもたちが、タブレット端末を自分専用の日常の文具として活用できるように、2学期以降さらに持ち帰る機会を増やすとともに、教科書との兼ね合いや家庭のネットワーク環境の整備等の課題解決に向け、検討を進めていく。

議員 この1、2カ月の間にも、新型コロナウ

イルス感染症の影響により臨時休校となった小・中学校があったが、タブレット端末を活用した取り組みは行ったのか。

教育長 学級全体が閉鎖となった学校では、全員がWeb会議システムで参加したオンライン授業を行った。個人単位で出席停止となった児童生徒には、その学級の授業中の先生の姿や黒板などを配信し、リアルタイムで授業に参加できるようにした学校もあった。それぞれの家庭や児童生徒の状況に応じてオンライン学習を行い、学びの保障を行っている。

議員 今後も学習の必須アイテムとしてしっかり活用できるよう準備し、他部局との連携など学校を越えた新たな活用を推進してほしい。

不登校

学校に通いやすい環境づくりを



新風創志会
井上 進



議員 不登校生徒をケアするため、令和2年度から3年間、毎年3校の中学校に校内ふれあい教室を増設する計画だが、設置校での利用状況や効果はどうか。また、設置していない学校ではどのように生徒を支援しているのか。

教育長 令和2年度は3校の校内ふれあい教室へ42人が通い、28人に出席日数の増加などの変化が見られた。校内ふれあい教室未設置の学校では、空き教室への別室登校による支援に加え、不登校対策アドバイザーが各校に指導助言を行うなど、さまざまな支援を行っている。

議員 中1ギャップ(*)は、不登校の大きな要因の一つと言われている。高知県にある土佐山学舎は小中一貫校であり、進学時の環境変化の

*小学校から中学校へ進学する際に、学習面、生活面での環境の変化になじめず、不登校やいじめなどが起こる現象

影響を解消することに加え、小学1年生から英語教育に取り組むなど、小中一貫校の長所をうまく生かしている。小中一貫校の導入について、本市の考え方はどうか。

教育長 不登校対策の観点で小中一貫教育の研究を行ったが、従来の中1ギャップと同様の小6ギャップが見られるなどの課題もあった。本市では、小・中学校の教員の乗り入れ授業や小学校高学年の一部教科担任制など小中連携を行っており、今後も、学びの一体化において、小学校から中学校に進学する際の接続が円滑なものとなるよう取り組みを進めていく。

議員 子どもたちが登校しやすい環境づくりをさらに推進してほしい。

園施設整備

フェンスの高さを確保して園児の安全を守れ



新風創志会
石川 善己



議員 保育園や幼稚園においては、外部から不審者が容易に侵入することができない施設整備が必要であり、囲障(フェンス等)は最低でも1.5m以上の高さを確保すべきと言われている。国の指針にも、囲障について十分な高さや形状を確保することが望ましいと示されている。本市で1.5m以上の囲障を設置している園は、どの程度あるのか。

こども未来部長 市内の公立園で1.5m以上のフェンスを設置しているのは、保育園および認定こども園で3園、幼稚園で3園である。

議員 外部から侵入しづらい環境づくりが大切である。今後、一層の安全対策をどのように進めていくのか考え方を確認したい。

こども未来部長 従来は1m前後のフェンスを設置していたが、より安全性を確保するため、数年前よりフェンスの新設や改修を行う際には、1.5mのものを順次設置している。

議員 何かの工事の時についでに設置するという考え方ではなく、年次ごとに計画的に何園かずつ対応していく必要があるのではないかと。

市川副市長 園の大規模改修などの際に、順次フェンスの更新を行っており、この点も十分に加味しながら、今後どの程度設置することができるのか、早急に計画的に行っていきたい。

議員 過去には痛ましい事件が市外でもあった。何かが起こる前に対処すべきであり、早期の対処をお願いしたい。

住吉運河

水害から市民の命を守るために必要なこと



新風創志会
早川 新平



議員 住吉運河は昭和28年の復旧工事以降、大きな改修が行われておらず、護岸の老朽化対策が急務である。平成18年には、四日市港管理組合から住吉運河の埋立事業の計画案が示され、護岸の改修と比較して安価に対策できるといった説明もあったが、護岸が不要となった場合には、護岸敷として土地を寄附した元地権者に当該土地を無償で返還する旨の念書の取り扱い等が障害となり、なかなか議論が進んでいない。一連の問題の進捗や対応の状況を確認したい。

政策推進部長 埋立事業の計画案は、あくまで検討資料の一つとして四日市港管理組合が作成したものと聞いているが、当該計画案について、地元からは懸念の声もいただいている。また、埋め立て後の寄附地の取り扱いなどが整理されていないことから、地元理解が得られていないとして、四日市港管理組合は、現時点では埋め立ては実施しないとの方針を示している。

議員 念書は当時の県知事名で出されたものだが、県は知事印がないため、その効力を認めて

おらず、住民の不信感が高まっている。しかし、重要なのは護岸を整備し、市民の命を守ることである。住吉運河がある富洲原地区は海岸から近く、海拔も低い。念書に関する議論の収束には時間を要するとしても、市民の命を守るという、行政の第一義的な義務を全うするために、早急に護岸の老朽化対策を進めるよう、四日市港管理組合と協力して対策してほしい。



老朽化が進む住吉運河

道 路

スマホを使った道路損傷通報システムを導入せよ



フューチャー四日市
村山 繁生



議員 高度経済成長期に整備され、老朽化した市道の損傷箇所が増えてきており、タイヤのパンクやバンパーの損傷など多くの事故が発生している。現在の対応状況で十分なのか、それとも、課題があるのか。

都市整備部長 道路損傷の通報が入ると職員が現地を確認しているが、通報から補修までの時間短縮や、大雨などによる損傷箇所の増加への対応が課題である。緊急対応や補修を業者に委託する仕組みを構築しており、これを前提としてさらに迅速な対応を行っていく必要がある。

議員 現在の口頭での通報は、場所の特定や状況の把握までに時間を要するが、スマートフォンを使った通報システムは、撮影した写真を送信すると、その位置情報から現場を正確に把握できるほか、損傷の程度を事前に確認することで、補修作業などもスムーズに行うことができる。本市でも導入すべきと考えるがどうか。

都市整備部長 本市で進めているLINE(ライン)を用いた生活情報や防災情報などを発信するシ

ステムに、道路損傷通報機能の追加を検討している。通報を受けると自動で委託業者に現地確認や補修を指示するようなシステムを構築し、まずは職員向けに試行導入し、効果検証を行った上で導入を進めていく。

議員 土砂崩れや道路崩壊などの災害時に特に威力を発揮できるため、本市に合った改良を加えながら本格的に導入してほしい。



※奈良市HPより抜粋

奈良市で導入されている道路損傷等通報システム

移住 地方に注がれるアツい視線を見逃すな



新風創志会
平野 貴之



議員 都市に住む人々が地方に魅力を感じ、地方に住みたい、働きたいと希望するケースが増えている。首都圏でのアンケート調査からも、地方転職が身近なものとなり、また、地方転職について好意的に捉える人が増加していることが読み取れる。そして、コロナ禍において、この動きはさらに加速している。経験豊富な人材の市内企業への登用は、本市の産業発展に有効であり、その機運が高まっている今は好機である。本市独自の支援制度を設けたり、移住の不安を解消するために情報提供を行うなど、国が展開する移住支援事業(※)の担い手である地方銀行と連携して移住をサポートしてはどうか。

シティプロモーション部長 県と協調して進め

※大企業の人材リストを地域経済活性化支援機構(REVIC)に整備し、地域企業の人材ニーズを把握する地域金融機関等による人材マッチングを進める事業

ている移住支援事業が活用されるよう、金融機関等に支援内容を情報提供して積極的な活用を促すとともに、首都圏での移住支援事業の周知を進める。また、必要に応じて新たな支援策について研究を進める。機会を捉えて金融機関と情報交換を実施していきたい。

議員 地方への熱い視線は、新卒の人材からも注がれており、本市出身者に向けた働きかけや転職を考えている人向けのニュースサイトとの連携等が効果的だと考える。さらに、企業も事業所の地方移転に注目しており、地方が熱い視線を浴びているこのチャンスを生かしてさらなる攻勢をかけ、首都圏の人たちが本市に振り向いてくれるような施策に期待している。

ごみ減量 クリーンセンターを安定して使い続けるために



フューチャー四日市
小田あけみ



議員 クリーンセンターへのごみの搬入量が当初想定を大きく上回り、焼却炉の補修等を前倒しで行うことになった。本市の1人当たりの家庭系ごみは全国平均を上回っており、前倒しが続けば経費がかさみ、予定より早く焼却炉が使えなくなるおそれがある。家庭系ごみの4割は台所から出る生ごみであるため、量を減らす方法として、臭いも虫も発生しない循環型生ごみ処理機「キエーロ」をごみ減量政策の一環として、普及促進してはどうか。

環境部長 過去5年間の可燃ごみ搬入実績は、当初の計画量に対して10%以上多くなっており、クリーンセンターの安定稼働に向けて、ごみの減量が重要と考える。本市では家庭から出る生

ごみの資源化推進を目的として、電気式の生ごみ処理機購入費の補助を行っている。現時点ではキエーロは補助対象ではないが、市民がそれぞれの生活様式に合った生ごみ処理の適切な手法を選択できるよう調査研究し、先進自治体の事例なども分析しながら、キエーロを含むさまざまな手法の啓発などに取り組んでいきたい。

議員 生ごみは水分が多く、燃やすには多くの燃料が必要となる。その結果、より多くの二酸化炭素が発生する。キエーロなどの循環型のごみ処理機を使えば、野菜などを育てるための肥料となる。燃やせばごみになる生ごみを資源として活用する循環型の生活に対する啓発に、より力を入れて推進してほしい。

文化財 VR・ARを使った魅力発信を



フューチャー四日市
後藤 純子



議員 VR(※1)やAR(※2)等の先端技術を観光PRに活用している事例がある。本市にも多くの文化財があり、旧四郷村役場は築100周年となる。コロナ禍において、記念イベントは中止となってしまったが、特設ページを設けて情報を発信している。本市でもARアプリ「まるごと四日市」のサービスを令和3年3月まで提供していたが、当アプリの効果検証はどうか。また、VRやARを活用して本市の文化財や行事等を広く情報発信してはどうか。

シティプロモーション部長 まるごと四日市のアクセス数は当初月5000件ほどあったが、その後伸び悩んだため、機能改善を図ってきた。まるごと四日市の機能は、他の普及しているアプ

リ等によって代替できたためサービス終了に至った。現在、AR機能を使ったサービスを提供しているが、今後も、魅力発信においてAR機能の特性を活かした活用を検討していきたい。

副教育長 久留倍官衙遺跡公園でのVRやARを活用した取り組みを研究しているところである。また、VR機能を使った祭りの360度動画やドローンを使った旧四郷村役場等の空撮映像もホームページで公開している。小・中学校に一人一台タブレットを配備したことで、学習面でのさらなる活用も考えられる。今後も先端技術の活用について研究を進めていきたい。

議員 夏休みイベント等においてもVRやARを使った取り組みが広がることに期待する。

※1 仮想現実：コンピューター上にCG等で人工的な環境を作り出し、あたかもそこにいるかのような感覚を体験できる技術

※2 拡張現実：現実の風景にコンピューターで生成した情報を重ね合わせることで、現実世界を拡張しようという技術

6月定例月議会の議案に対してご意見をいただきました

一部の議案について、委員会で審査される前に市民の皆さんに情報提供を行い、ご意見をいただいています。主なご意見の概要は次のとおりです。いただいたすべての意見は市議会ホームページに掲載しています。

◆妊産婦乳幼児保健指導事業

〈産後ケア事業(宿泊型・デイケア型)〉について 17件

- 支援の周知を行い、利用者に偏りが出ないようにしてほしい。
- 不安を抱えている数はかなり多いと思うので、この事業が利用できることを、もっと広めてほしい。
- 保健指導に対する利用者の満足度の検証が必要ではないか。
- 計7日以内とする利用日数に疑問を感じる。少しサービスの枠が広がってもいいのではと感じる。

◆農業センター再整備事業について 10件

- 市民が農業と触れ合う施設は重要である。農業をやりたい市民はたくさんいるので、きっかけづくりを働きかけてほしい。
- 今後、第2、第3の農業センターを小・中学

校隣接で建設していくことで教育の一環に農業体験を今以上に取り込んでいける時代が来ることを期待したい。

- 大切な「食」を衰退させないよう、農業の発展のため、また、家庭菜園のノウハウ、土に触れることによる心身の構築等、発信拠点の充実に期待したい。

◆工事請負契約の締結について

一 西阿倉川62号線道路改良工事 一 8件

- 早急に進めてほしい。他の交差点や道幅が狭い市道も改良してほしい。
- 南向きの海蔵川に向かう道路も一部だけでなく、川沿いまでもう少し広くなればと思う。2年か3年かかっても道路を広げる計画をお願いしたい。
- 渋滞緩和は大賛成だが、工事期間が長すぎる。

8月定例月議会については、8月20日(金)に市議会ホームページ(<https://www.city.yokkaichi.mie.jp/gikai/>)に議案および議案資料を掲載し、8月26日(木)までご意見を募集する予定です。
皆さんからのご意見をお待ちしています。

8月定例月議会の議会報告会(予定)

8月定例月議会の議会報告会を11月1日、2日に開催します(詳細は下記参照)。事前のお申し込みは不要ですので、参加を希望する会場にどうぞお気軽にお越しください。

※新型コロナウイルス感染症の状況や天候等により、中止や開催方法の変更をさせていただく場合がありますので、あらかじめご了承ください。

※シティ・ミーティングのテーマが決定しましたら、市議会ホームページやチラシ等でお知らせします。

第1部:議会報告会 第2部:シティ・ミーティング(意見交換会)

日時	令和3年11月1日(月) 18:30~20:45		令和3年11月2日(火) 18:30~20:45	
常任委員会	教育民生	産業生活	総務	都市・環境
会場	四郷地区市民センター 2階大会議室	保々地区市民センター 2階会議室	海蔵地区市民センター 2階中会議室	常磐地区市民センター 2階大会議室
	室山町645-1	市場町3039-5	大字東阿倉川622-1	城西町8-11
所管事項	教育、こども、 健康福祉など	商工業、農林水産業、 市民文化、市立病院など	市政の企画、財務、危機管理、 消防、シティプロモーションなど	道路、住宅、上下水道、 環境衛生、国体など

※会場でのやりとりを基本としてご意見をいただきます。 ※全会場、手話通訳いたします(事前予約は不要です)。

※進行状況によっては、記載された予定時刻よりも早く終わる可能性があります。

※開催3時間前に、大雨、暴風、大雪、津波のいずれかの警報が発表された場合、あるいは開始3時間前の時点で短時間のうちに各警報が発令される可能性が高いと認められる場合、また市域に震度4以上の地震が発生した場合は、開催を取り止めとさせていただきます。なお、開催を取り止める場合は、市議会ホームページやSNSでお知らせいたします。

人事案件

- 教育長 廣瀬 琢也氏(新任) 住所：大谷台二丁目
- 教育委員会委員 豊田 妙子氏(再任) 住所：ときわ三丁目

8月定例月議会の予定 (日程は都合により変更する場合があります)

四日市市議会では、令和元年度から、決算審査を通じて次年度の予算編成に向けた提言を行うとともに、その内容を次年度予算に反映させる取り組みを行っています。

決算常任委員会の審査の時期を早め、議会からの提言がより迅速に行えるよう、8月定例月議会を下記の日程で開催いたします。

月	日	内 容	開始時間
8	27(金)	本会議 初日(議案説明 ほか)	午前10時
	30(月)	本会議(質疑・委員会付託 ほか) 各常任委員会/予算、決算各分科会	
	31(火)~ 9月2(木)	各常任委員会/予算、決算各分科会 *予備日は3(金)	
9	8(水)、 13(月)、14(火)	決算常任委員会全体会 *予備日は15(水)	
	16(木)	予算常任委員会全体会 *予備日は17(金)	
	24(金)	本会議 (委員長報告・採決 ほか)	
10	7(木)	本会議(追加議案説明 ほか)	午前10時
	14(木)、15(金)、 18(月)	本会議(一般質問)	
	19(火)	本会議 (一般質問、質疑・委員会付託 ほか)	
	20(水)	各常任委員会/予算分科会	
	21(木)	予算常任委員会全体会	
	22(金)	本会議 最終日 (委員長報告・採決 ほか)	午後1時

※委員会は審査の進み具合により、予定より早く終了する場合があります。
 ※一般質問の様様をCTY122ch(サブチャンネル)で放送する予定です。
 ※本会議と常任委員会の様様は市議会のホームページで生中継し、録画中継もご覧いただけます。

あ と が き

今後の編集の参考とするため、「よっかいち市議会だより」をご覧になったご意見、ご感想などをお寄せください。

広報広聴委員会(◎委員長 ○副委員長)

- ◎樋口 博己 ○樋口 龍馬 伊藤 昌志 荻須 智之
- 小田あけみ 谷口 周司 豊田 祥司 森 智子

意見書

- ◆核兵器禁止条約の実効性を高めるための主導的役割を果たすことを求める意見書
- ◆選択的夫婦別姓制度に対しては慎重なる検討を求める意見書
(提出先：内閣総理大臣ほか)

市長へ要望書を提出

四日市市議会では、新型コロナウイルスワクチン接種がさらに円滑に進むように、市民の皆さんへの情報提供の充実や今後の接種事業の進め方などの項目について、5月26日と6月2日に、それぞれ市長へ要望書を提出しました。



議員説明会を開催

5月21日に「新型コロナウイルスワクチン接種事業」、「近鉄四日市駅周辺等整備事業の状況」について、行政側から説明を受けました。

ご意見・ご感想などのあて先

〒510-8601 四日市市諏訪町1番5号
 四日市市議会事務局
 Tel 059-354-8340
 Fax 059-354-8304

Eメールアドレス

shigikai@city.yokkaichi.mie.jp

ホームページ

四日市市議会 検索

発行/四日市市議会
 編集/広報広聴委員会
 四日市市諏訪町1番5号